



桶川東中だより

☆☆令和6年度☆☆

桶川東中学校通信 No.9 発行：1月14日（火）

新たな年を迎えて願うこと

校長 家徳 丈夫

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、そして地域の方々には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。私たち職員一同、本校生徒のために力を尽くしてまいります。保護者の皆様には、今学期も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、3学期始業式式辞の概要を掲載させていただきます。

新年あけましておめでとうございます。いよいよ新たな年、そして新たな学期がスタートしました。皆さんとともに、新年そして新学期が、このように迎えられることに感謝したいと思います。

そして、まずは、今年1年間、健康で、皆さんが学習や様々な活動に精一杯頑張ってもらいたいということが、始業式にあたって、私の1つ目の願いです。

さて、今年乙巳年（みどし）で、十二支は「巳（み）」ですが、十干（じっかん）は「乙（きのと）」で、「乙巳（きのとみ）」の年となります。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ち、巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳（きのとみ）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

ちなみに、乙巳の年には、大化元年（645年）の大化の改新、文治元年（1185年）の源平争乱の終結、明治38年（1905年）には日露戦争の終結などがあり、時代の変わり目となった出来事がありました。

それぞれ一定の段階に達して新たな段階に進んでいく、時代の画期（かつき）になった事柄であり、いずれも終わり始まり、到達点と出発点のような面があるようです。皆さんにも、一定の成果を出し、その後のステップアップにつながる1年であってほしいというのが、私の2つ目の願いです。

また、3学期は、1年間で最後の学期であり、3年生にとっては、中学校生活で最後の学期となります。今学期は、1・2年生の授業日は52日、3年生の授業日は45日と短い学期です。この期間に、1年間のまとめとともに、進級・進学など、新たなステップへの準備としても重要な期間となります。皆さんは、学年が始まったときに比べ、どのくらい成長したのでしょうか。また、年度当初に立てた目標は達成できているのでしょうか。私が年度当初に2・3年生にお願いしたことに『桶川東中生のプライド』とは何かを考え、身につけることがありました。このことは、間もなく先輩になる1年生にも考え、身に付けてほしいと思っています。そのために、改めて3学期をどう過ごすか考えてみてください。今学期の終わりに、皆さんが自身を振り返ったとき、有終の美を飾ることができ、『桶川東中生のプライド』を身につけることができたと思えるようになっていることが、私の3つ目の願いです。

1・2年生は、スキー教室や修学旅行、三年生を送る会という大きな行事が予定されており、また、3年生はいよいよ進路を決める大切なときが目前となっています。そのためにも、かけがえのない一日一日を、これまで一緒に過ごしてきた仲間とともに、充実させられるように努力していきましょう。

全校生徒の皆さんにとって、令和7年が素敵な年となり、この3学期が実り多き学期となるよう期待しています。

1月の生活目標

- ☆1年間の計画を立てて学習に取り組もう
- ☆身だしなみを整えよう

重点目標

- 手洗い・換気など感染予防対策の徹底
- 正しい服装を心がける